

令和7年度 萬鉄五郎記念美術館運営委員会会議録

1 開催日時

令和8年3月24日（火） 午後2時～午後4時

2 開催場所

花巻市東和総合支所第1会議室

3 出席者

(1) 出席委員7名

門馬優子会長職務代理者、小笠原卓雄委員、菅沼緑委員、菊池房江委員、
杉本吉武委員、牧野幹委員、菊池忠久委員

(2) 欠席委員3名 佐々木秀次会長、斎藤純委員、岩角聖孝委員

(3) 事務局5名（萬鉄五郎記念美術館）

平澤広館長、梅原奈美生涯学習課長、小原千晴副館長、高橋峻主事（学芸員）、
小原美有学芸員

4 会議内容

事務局（梅原生涯学習課長）

時間には早いですが皆様お揃いになりましたので、始めさせていただきたいと思
います。

本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

それではただいまから令和7年度萬鉄五郎記念美術館運営委員会を開会いたします。

議事に入ります前に、本運営委員会は萬鉄五郎記念美術館管理運営規則第9条第2項
の規定により、委員の半数以上の出席により成立するとされておりますが、本日は7
名出席されておりますことから、半数以上のご出席をいただいております、会議が成立し

ていることをご報告申し上げます。

また、佐々木秀次会長でございますが、お元気な様子と伺っておりますけれども、本日は欠席ということで、進行は会長職務代理でございます門馬優子会長職務代理にお願いいたします。

以降、次第に沿って進めさせていただきます。

よろしく申し上げます。

それでは、はじめに萬鉄五郎記念美術館平澤館長よりご挨拶申し上げます。

事務局（平澤館長）

年度末のお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

なんか寒くなったり暖くなったり体調を崩したり、あと花粉がすごいですね。

もう車が真っ白になってしまう。

そんな状況でお集まりいただきありがとうございます。

今年度大きな事業としては、11月から2月の半ばまで休館して、館内照明のLED化の工事をしました。

館内全部LEDになって一つひとつ操作でき、照明の色とか明るさとか調節できるということになっていますけども非常に手間がかかります。

一つひとつタッチパネルでやらなきゃならないので、今まで以上に時間はかかります。

新兵器もなかなか操作するのが難しいなと思って、先月20日から運用を開始したんですけども、1か月経っても、まだ慣れないところが実情あります。

ただ、館内は非常に明るくなり、暗くもできるし、作品に対しては良い状況になったと思います。

また、去年は萬鉄五郎の作品展、写真面からアプローチするという展覧会に始まりまして、夏のゾロリ展は本当にお子さんたちがたくさんいらっしやって、とても好評でした。作家の原ゆたかさんもいらっしやって大人気で、サイン会も盛会でした。

秋は以前に委員さんから、海外の展覧会もやったらどうかというご意見もあったので、大川美術館のコレクション、アートセレクションということで、世界の近代美術の代表的な作家の展覧会を開催したところです。

その後、休館に入りまして、休館明けは現在開催しております杉本みゆきさんの現代作家の展覧会で、50年近いキャリアの全貌を見せるということで、本館と八丁土蔵ギャラリーを含めての展覧会。さらには新たな試みとして、萬鉄五郎と杉本さんの作品のコラボ展示も行っておりますので、ぜひ見ていただきたいと思います。

八丁土蔵ギャラリーでは、長らく鉄人会の会員であった浅沼友孝さんという方がお元気で100歳を迎え、それを記念して初めて展示を八丁土蔵で行いました。

それから、来年度の目玉としては、宮沢賢治の生誕130年を記念した展覧会を開催予定しております。

賢治の生涯は、当然紹介しますが、初のアプローチとして萬鉄五郎と賢治です。どういふふうにあプローチするかも期待してください。

簡単ですが挨拶に代えさせていただきます。

事務局（梅原生涯学習課長）

ありがとうございました。

議題に入ります前に、会議公開について確認したいと思います。

花巻市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、本会議を公開することとしてよろしいか伺います。

会議終了後、本会議の議事録および資料が市ホームページにて公開されることとなりますが、公開してよろしいでしょうか？

異議なしの声

ありがとうございます。それでは異議なしということで、公開することにいたします。

それでは議事に入らせていただきます。この後の議事の進行は、萬鉄五郎記念美術館管理運営規則第8条第2項および第3項の規定により、門馬会長職務代理にお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

門馬優子 委員長職務代理

会長さんがご欠席ということで務めさせていただきます。

皆様のご協力により進めてまいりたいと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは早速でございますが、議事に入ります。

報告事項令和7年度萬鉄五郎記念美術館の運営状況についてを事務局からご説明お願いいたします。

—事務局説明—

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたが、皆様の方からご意見ご質問ありましたらお伺いいたします。

菊池忠久 委員

今年度も芸術鑑賞サロン事業ということで大迫活性化センターの方にお借りして提供させていただきました。

本当にいろいろ貸し出してもらい地域住民に身近な作品を見てもらい感謝していただいてよかったなと思ってます。継続していただければと思います。

一つご質問です。

かいけつゾロリ大冒険展に5歳の孫と見させていただきました。

作品の中で、子供たちが全体的にふれあいできるような展示になっていて牢屋みたいな展示のところにもキャラクターはあるし、非常によかったなと私は思ってます。

ただ残念なのはですね、入館者数4,767人と当初の計画の半分ぐらいしか入っていないですね。どうしてかなと。当初の予定と何か大きく外れた要因はありますか。

事務局（高橋学芸員）

ご指摘のとおり、当初の予定では、入場者数については、7,000～8,000人ほどを目標としておりました。他の美術館で同様の展覧会を開催しており、様子をお聞きしまして、1万2,000人とか、そのぐらい入っている展覧会でしたので、期待していたんですけども、思ったより伸び悩んだというところもあります。また、例年の絵本展に比べてこの展覧会は会期が短かったんです。それでも夏休みの時期に合わせたものにはなるんですが、約1か月ちょっとの会期だったので、もう少し会期が長ければ入館ももう少し伸びたのかなというところではあります。

菊池忠久 委員

ありがとうございます本当にちょっと残念だな。もう一点、杉本みゆきさんの展覧会なんですけど、先ほどこちらに来る前にちょっと拝見させていただきました。

最初美術館の方に入って、ぱっと見て思ったのは抽象的な現代アートだろうな。

この方はこういう作品しか描かないのかなと思ったんですよ。でも八丁土蔵の方に行ってみたら、これまた違う作風だなと幻想的な絵画や、そちらの方がむしろ見応えがあったりするんで、残念だと思うのは、本館の方に土蔵にあるような作品があった方がいいんじゃないかな。本館に入っただけで土蔵の方も全部見ていく方があるとも限らないし、非常にもったいないなと思って。展示の仕方なんですけども、土蔵にあるような作品を一部本館にもあれば、素人目にはですが楽しみかと思うんですけど、感想です。

門馬優子 委員長職務代理

他にございませんか。牧野委員さん。

牧野 幹 委員

かいけつゾロリの大冒険展はとてもありがたい企画で、楽しませていただきました。それで、入場者数がちょっと少なかった。予想されていたより少なかったんじゃないかなというようなことを話されましたが、ちょっと関わりのある学童クラブにも団体で入れることを話しかけたり、呼びかけたりしたんですけども、学童の夏休み期間と、その展示期間とうまく時間が合わなくて結局お家の方たちに連れて行っていただくということのほうが現実的だったのかなと思いました。展覧会の良さっていうのは後から感じるもので、その時は入館者数が少なかったかもしれませんが、もう一度本を読み返したり、新たな読者が増えたりっていうふうなことを実際に身の回りで見ている、その展示期間だけじゃないところでの協力っていうのかな、広がりとか継続性があるものだと感じました。

それと、次の大川美術館コレクションのところですけども、これもとても贅沢な楽しみ方ができた展覧会でした。自分のペースでもうゆったりと何度でも楽しむことができるという、そういう美術館ならではの、ここの美術館ならではの良さを感じることができた展覧会でした。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。

感想に入られてるので、委員の皆様、感想を含めて何かご発言をお願いしたいと思います。杉本委員さんいかがですか。

杉本吉武 委員

常日頃からこのような美術館の評価、萬に関しては、それが今回、一番はLEDの効果じゃないかと・・・前は暗くて天井が低く見えただけ、素直に高い天井とかがあって、キラキラした感じはなくて見やすくすごく作品がやっぱり隅々まで視認性が良くなったっていうか。それに一番今まで大きく何が違ったかっていうのは、やっぱり光っているのは本当に大切に、自然に入ってきて、作品の隅々まで見て取れるっていうか、LEDを効果的に使ってる、それが大きな進歩だと思います。

気がついたのは、木の間通信。あれも小さい冊子なんだけど、中身が濃くて、最後の平澤館長のコラムが良い、小回りの利くPRというか。

県立美術館と比べるんですけど、またそんなに大きなPRというか、ちょっとやっぱり一般の人がとつきにくいというか、寄り難いっていうか、そんなところ萬は本当に親しみやすい、そういうPRを展開してると思う。文化とかが東和町は持っているなと思います。企画もすごく小回りの利く、中央に出すような美術展、泣いて喜ぶような企画を毎年焦点を当てているっていうのは本当にえらい活動だと思います。

あとですね、必ず必ず年に3冊程の企画に対しての図録編集、これは特に県人作家の0からっていうのは本当ありがたいというか、非常に立派な内容と試算通り情報量を持って、調査力というのは他は行っていない、すごい仕事をしてると思います。以上です。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。大変評価が高い言葉でした。館長さん、後で何か一言いただきたいと思いますが皆さん委員さんから順番にまたお聞きしたいと思います。

菊池委員さんいかがですか。

菊池房江 委員

私いつも感心してるんですけど、こういう会議があった後に、この会議で話題になったり意見として出てきたことが、ものすごくスピード感があって形になってるというのがすごいと思ってます。

例えば収蔵施設すぐ前から気にしてたんですけど、たくさんのコレクションがあっても、展示依頼するまでの間とか、いろいろな部分で良い作品を保存保管もそうですし、すぐにきちっといい形で空調設備もいいものことができました。

そして企画展は先ほどお話もあったんですけど大川美術館コレクションから海外のものもすぐに対応する。それからずっと夏休みの期間は子供さんたち向けの親子連れで楽しめる企画というのは、長いこと続いてきてるということ。東和町の宝というか、みんなの宝物なんですけど中学校の生徒さんたちとの関わり、そして地元の人たちの応援、これは、よそにないもので、地域と地域の人たちとの結びつきっていうのは、いろいろなところを歩いて見てきてますけど、他にはない。親大人から子供までアートクラフトで日本中から人を集める。美術館としていい形で行われてるということは、人と人との結びつきから生まれる、芸術作品を守っていくというか、次の世代へその想いを繋ぐというのはとても大事なことだと思います。あと、かいけつゾロリは集客数の話が出ましたが、例えば小学校中学校、保育園幼稚園の中のいろいろなところの授業の一環として、学童も、学年を絞って、そこに提案して見せていったらいいのではと思います。文化会館の事業では、毎年小中高対象にきちんと事業として見せておりますので、継続していくことで、力になって子供さんたちが早い時期から芸術文化を大切にする心を育てるきっかけになってると思うので、例えば夏休みのいい企画が出たときは、花巻市内の小学校中学校高校どのターゲットにすればいいのか、その学年をみんなで先生方も交えて揉んで、そこに授業の一環としての提供をしていただきたいと思います。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。菅沼委員さんお願いいたします。

菅沼 緑 委員

ちょうど八丁土蔵ギャラリーの方ですけど、展覧会を知っている人たちのいろいろな経歴みたいなのを見ると、かなり実績をたくさん積んでる人たちの作品の展覧会が多いような気がする。

岩手県にも若くて結構一生懸命作品を作ってる人がたくさんいるということが、この

間、県立美術館で正月にあるアートフェスタを見に行つて、私が不勉強なのかも知れないけど、全く知らない人で良い作品がたくさんあったと思うんですね。

もうそれは私が普段はあんまり見てないからそういうふうを感じるのかもしれないけれども、そういう人達なんかも掘り起こすような形で、活用してもらえるといいなと私個人的には思ってます。そこを県立美術館のアートフェスタは私もそんなに何度も見ているわけじゃないですけども3年続けて見に行つて、知らない人がたくさんいるなというふう感じて、何とかそういう人達を取り上げるようなことができるといいと思う。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。

それでは小笠原委員さんお願いします。

小笠原卓雄 委員

大体何か言いたいなと思つてることがほとんど出てしまったんですが一つ。

いい取り組みだったなと思うのは、写真と萬鉄五郎の取り合わせのところですね。

やっぱりあの時代、写真をどういうふうにかつて考えるかとか捉えるかというの、大きな関心時でもありテーマだったと思うんですね。ですから、そういうところをいち早く彼は自分で写真を撮つて現像してとつかつていうところまでやつて、自分の絵画の表現と、写真の表現との違いとか、あるいは共通点とか、そういうのはずいぶん自分で見つけていったんだと思うんですね。

ですからそういうところはとても先進的だったなという。そこが取り上げられて、とてもいい企画だったと思つました。

それから20世紀セレクションは、とても現在に近いところのものでしたので例えば教育効果があつたかなと思つます。

というのは今、小中学校あたりの教科書なんか見ると、かなりああいう時代のものがいっぱい載つておまして、例えばアンディ・ウォーホルなんかも載つてるわけですが、小さい画面で見るとよくわからないわけですね。

そんなもんかなという感じなんです、あのように物が大きいものがちゃんと来ると

ですね、こういう形でやってたのかという。とてもはっきりとすっきりと心にくるものがあつたんじゃないかなということで、ああいう現代に近いものの企画というのは、とても新鮮な感じがありますので、今回と同じように何年かおきに色々取り組みはやってほしいと思います。

それから八丁土蔵の件で菅沼さんも言ってましたけども、とても私は毎回楽しみにしてて、見に行つて楽しんで帰っております。なるべくたくさん若い人に実験的なことをやってる一通りを取り上げて、若い人の自由な発表の機会を作つてあげて、それもやっぱり一つの教育効果だと思いますので、そこをなるべく小回りの利く軽やかにトントンと何度でもいろんなものをやるというような感じでやっていけば、もっともっと面白いかなという感じがいたします。来年度も楽しみにしております。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。私も一言言わせてください。

20世紀コレクションですけれども、アンケートの中に作品についての要望ですね。

グワッシュやエッチングという、子供さんなんかは初めて聞く横文字だと思いますし大人でも全く初めて聞く言葉がすごくたくさん出てきます。

それについての説明がちょっと解説があつたらいいんじゃないかっていう、ごもっともなアンケートがありますけども、そういうのは取り入れるお考えはありますか。

事務局（高橋学芸員）

やはり作品を鑑賞するときに、この素材に何を使つてるんだろうとか、そういうことが気になったときに詳しい技法とか、例えば今回の展覧会ですと、20世紀のキュビズムとかあるいはポップアートとかの表現様式も含めて、そういった部分の解説も詳しくあれば、いろんな方がより美術に対して興味を抱いて、その理解を助けることができるのではないかと思います。今後の展覧会の際に検討にしていきたいと思います。

小笠原卓雄 委員

それからどの企画もとてもいい企画ばかりだったと思うんですけど、いかんせんやっぱり入場入館者数が伸び悩んだっていう点が私も気になります。

結構町外市外からの来館者が多くていろんな感想を寄せていただいたといひますか、

お膝元の子供たちにあまり話をしてないんじゃないかという点が、いつも残念に思っておりますんですけど、これと関係あるかどうか分かりませんがこの運営委員会の開催時期ですけど、学校の先生、変わられる時期に。校長先生委員さんになってますよね。各学校へ皆さんの意見を届ける場っていうのは大事なところじゃないかと思うんですけども、開催時期というのは少し変えることってできるんですか。

事務局（平澤館長）

開催時期については決まっははいないんですが、まず年1回ということで行って来ました。今のご意見については検討していきたいと思います。

門馬優子 委員長職務代理

今年度までの中学校の校長先生は非常に積極的な関わり方を持つ校長先生でしたけれども、いつもそういう関心のある校長先生とばかりは思いませんが、やっぱりトップに立つ先生の意向っていうのは学校に大きく反映すると思いますので、多感な時期の中学生たちに本当に本物の芸術に触れてほしいといつも思っておりますので、開催時期もぜひご検討ください。お願いいたします。

それでは平澤館長、企画のご苦労話とか、お願いいたします。

事務局（平澤館長）

いろいろ皆さんご意見ありがとうございました。

それこそ夏の企画展は学童の参加を期待したんですけども、実際やっぱりいらっしやったのは地元の東和学童クラブと若葉、北上の3箇所に留まりました。大人数で動くのは、足の問題があるからすぐ対応できないっていうのも実際にはあるのかもしれない。

ただ、学童の方でもそういう行事を求めている。新たな行事があれば早く教えて欲しいという要望もありますので、これが決まりましたら、来年の行事予定として学童の方にもお知らせを早くしておけば、計画できるのかなと考えております。

それから八丁土蔵ギャラリーの件、若手作家にも声かけ始めてますので、ご期待ください。さらに、県外作家にもと思いつつも、予算の面もあるので出来るだけそのような、幅広くと考えていきたいと思っております。

あと鉄人会の会員も若手の人達を何とか入れたいと思っており、課題なんですけど、皆様いろいろ協力していただいて何とか若返りを図りたいと思ってます。

委員会の開催時期、市の博物館とか、他館はもっと早い時期なんですよ？当館も以前は、12月頃にやっていたのですが。

事務局（梅原生涯学習課長）

花巻新渡戸記念館は11月頃です。開催時期を変えることはできると思います。

事務局（平澤館長）

ただ来年度の予算が、まだ確定してないものですから、あくまでも予定という形でのなるので、事前に打ち合わせが必要だと思います。

小笠原卓雄 委員

運営委員会ですけども、2回やってもいいと思うんですよ。初めと年度終わりと

今年度はこういうふうにしますということをもう一度4月なり5月のところで、最後、この時期に今年度はこうでしたと変更しますというような2回やってもいいんじゃない。さっき話題に出た校長先生とかですね、教育関係の人も行事の見通しも立てやすいんじゃない。

事務局（平澤館長）

はい、ありがとうございます。これも検討させてください。

門馬優子 委員長職務代理

以上、大体皆さんのお答えになりましたでしょうかね。菊池委員さんどうぞ。

菊池房江 委員

さっき門馬さんの方からその技法とか、いろんなものについて知りたいとかっていう

話が出たときに、今いろんな形で例えば日本現代工芸の会場でも、やっぱり素材とか希望とか知りたいというお声を受けて、パネル展示で解説も一緒に用意して、見ていただくようにしてるんですけど、多分それだったら割と手軽にすぐに会場で作ることができるんじゃないかと思うので、こういう事をされてもいいんじゃないかと思いません。結構好評で、皆さん立ち止まって入る前にも見て行って戻ってきて、やっぱりこうだったんだなとまた確認してお帰りになる方たちもいたり、そのパネルが会場にあれば、よく理解していただけるのではないかと思いますので、手をかけやすいものから始めればいいのかと思うんですけどよろしく願いいたします。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。他に皆様から何かございますか。

小笠原卓雄 委員

すいません、その他でいえばいいかもしれないですが、一つは先程のやはり子供たちに見てもらいたいという件ですね。この名簿にある校長会の中学校の校長さん、小学校については小学校の先生も必要じゃないかな。本来はちょっと確認したいのは、例えば、その通り花巻には博物館、美術館もあるんですね。新渡戸記念館もありますし、学校のカリキュラムの中で、例えば何年生になったらこの博物館行きますよ。そういうカリキュラムがやってないのかなと、ふと思ったんですよ。花巻の子供たちに目に触れさせて勉強させようというのであれば、学校の先生方の方に、年間計画の中で取り組んでもらうことが必要じゃないかなということですね。それと八丁土蔵の新人さん作品ですね、私何回目か2回経験しました県のときは確か8人とかいろんな形で若い作家の展示会あったんですね。これをですね、本館の方で複数の人達がね、例えば八丁土蔵の方で若い作品が何点かあったという。やっぱりこういう人達のがんばりの作品展示をする。同情ではなくて、むしろ堂々と展示させてなんだろうPRをするのもありかなと思うんですね。今後の検討で考えていただければありがたいと思います。

門馬優子 委員長職務代理

他に皆様から何かございませんか。それではないようですのでこれを終結いたしまして、諮問事項令和8年度萬徹頃記念美術館運営計画についてを議題といたします。

事務局からご説明をお願いいたします。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様のご意見、ご質問ありましたらお願いいたします。

特にご質問ご意見ないようですので、先程と同じように一言ずつ何か感想などを述べていただければ幸いです。また菊池委員さんからでよろしいですか。

菊池忠久 委員

特にありません。

門馬優子 委員長職務代理

それでは牧野委員さんは何かございますか。

牧野 幹 委員

生誕 130 周年宮沢賢治展ということで、先程館長さんがお話されてましたが、記念館と何か連携されているのでしょうか。

事務局（平澤館長）

記念館さんには、全面協力をお願いしていただけるようには話をしております。向こうは予定が入ってるみたいなので、130 年にちなんだ何か企画展にはなるのかなと思います。

色々と実物をお借りしたいと思っておりますが、当館の企画は美術というあらたなアプローチと、賢治の生涯という内容です。

牧野 幹 委員

わかりました。すごく心をそそられるんですけども、実は光太郎記念館で賢治と光太郎ということで企画展を今もなされてるんですけども、そういうちょっと他とは結びつかないような人と繋がりという企画を県外の方にご案内したときに、「へえ、そうだったのか」と驚かれたんです。光太郎と賢治はそういう繋がりがあったのかと。

でも新鮮にその展覧会を見ていただけたということがあったので、楽しい企画であります。以上です。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。杉本委員さんお願いいたします。

杉本吉武 委員

皆さんの多くは美術館のコレクション展が評価が高い、大川美術館で相当貸し出すのも毎年あるかと思えますけど、これの続編みたいに、4～5年かかってもいいですから大川美術館の今回借りてきた以外のものも多分貴重な作品が続いたと思えますから、これの続編をぜひ見たいものだと思います。早い時期から計画してもいいんじゃないかと個人的には思っております。

あと壁改修するという話ですけど、LEDについても補修というか、建物に対し大事な建物を改修して維持していくことは大事なことだと思います。以上です。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。菊池委員よろしく申し上げます。

菊池房江 委員

今年もまた絵本展が開催のようですけど、本当にこういう素晴らしい企画がどんどん出てくるとすれば、花巻市のまなびキャンパスカードを利用して、ご父兄さんが子供さん達と一緒に見に来てほしいと思います。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。菅沼委員さん、申し上げます。

菅沼 緑 委員

博物館法が変わったということは、どういうところが変わったのか。ちょっとあんま

り直接関係がないかも知れないけども、少し知りたいなと思ったんです。

事務局（高橋学芸員）

登録の関係ですが、登録博物館と博物館の相当施設、博物館の類似施設があるんですが、今回登録の方法を見直して、今まで登録になっていない博物館とか美術館も新しく登録を進めていこうという風に制度が改正になっています。また、運営に関して、美術館・博物館と地域との連携、あるいは観光との連携、さらにはデジタルアーカイヴを進めていきたいと思いますという内容が今回から新たに加わった。そのあたりが改正の主な趣旨になります。

事務局（平澤館長）

簡単に言えばきちんと活動しなさいよということです。

名前だけの記念館や美術館じゃなくて、しっかり活動しなさい、それから活動の報告書も作って後世に残しなさい。加えて地域と連携しなさい。観光をベースにした考え方をもって活動に反映しなさいという。開かれた形の美術館、博物館の運営を考えていきなさいっていう主旨です。その上で展覧会をやりっぱなしじゃなく、カタログや成果記録を作りなさいということを含んだ内容になってます。もう一点は、所蔵しているものを公開しなさいと、そのためには、データベースを作って、デジタル化して発信しなさいという項目が加わっています。自由がなくなるとか、規制が強くなるとか、そういうわけではなく、しっかりとした活動を、大小にかかわらず積み重ねてくださいねという主旨です。学芸員もしっかり研究しなさいねということです。研究する時間的な余裕とかは、設置者がその配慮をしてやりなさいね。ということが含まれた改正です。

門馬優子 委員長職務代理

わかりやすい説明でありがとうございます。

事務局（高橋学芸員）

補足として、事務的な部分ではありますが、法改正になってから登録博物館は登録を行っている県に対して定期報告が必要になりました。運営委員の皆様にご報告し

ているような運営の内容ですとか、館の体制や施設に変更がないかというのを毎年県に対して、報告を行うように変更になっています。

菅沼 緑 委員

ご苦労さんです。

門馬優子 委員長職務代理

それでは小笠原委員さんお願いします。

小笠原卓雄 委員

八丁土蔵ギャラリーの作家は浅倉くんと伊山くんとか取り上げていただいている予定で楽しみにしています。

それから、これはちょっと今すぐということではなくて、ぜひ取り上げてほしいのは、やはり現代美術ということになっていくと、菅木志雄を外すわけにはいかないという気がするんですね。高校時代を花巻で過ごしておりますし、中高がね。そういう点で花巻と関係が深い方ですし現代美術の第一人者でずっとやってこられて、トップを走ってきた人がどういう形になるかはわかりませんが何年か計画でも構いませんので、取り上げてほしいと思っております。以上です。

門馬優子 委員長職務代理

皆さんから他にございませんか。

菊池忠久 委員

すみません。最後にお願いします。以前も言いましたけど大迫町出身の平沢屏山ですね。この人の作品のもしよければ計画していただければと思います。

門馬優子 委員長職務代理

ありがとうございました。皆様から他にございませんか。

私は杉本みゆき展、とても素晴らしい展覧会だと思って拝見しました。いつも萬鉄五郎作品が入ってるガラスケースの中に、ハッとと思ったらみゆきさんの作品が時々出てきて、すごくそれが何かマッチしてるといいますか、こういうユニークな展示の仕方素晴らしいと思いました。萬美術館ならではのユニークな展示方法とかを皆さんに見せていただくことをまた期待しております。ありがとうございました。では皆様から他にございませんか。ないようですので、これで終結いたします。それではこれもちまして、議長の務めを終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。

事務局（梅原生涯学習課長）

門馬会長職務代理ありがとうございました。

次第4のその他です。事務局では特に準備しておりませんが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

では、以上をもちまして、令和7年度萬鉄五郎記念美術館運営委員会を閉会いたします。委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。